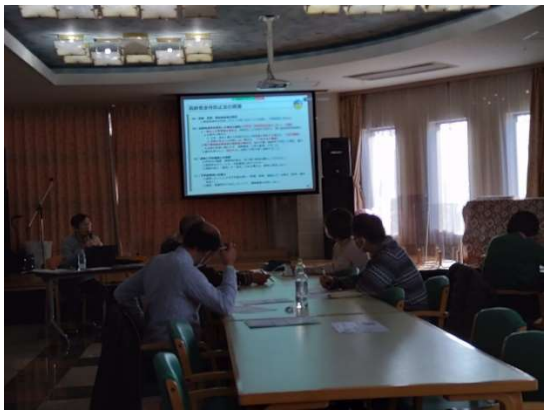
西胆振地域連携研修･法人内研修　実施報告書

研修名	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修（入居系事業所編）②

対象者	入居系事業所に勤務する職員
日　程	令和４年 11 月９日（水）
会　場	ふる里の丘総合福祉館



研修のねらい

平成 18 年４月の「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」の施行により高齢者支援の現場においては高齢者虐待の防止についての適切な対応や支援等の取り組みが求められています。本研修会は、高齢者虐待の相談、防止、支援等の職務に従事する職員を対象に、高齢者虐待に関する理解と認識を深め、施設内での虐待や身体拘束を防止するシステムづくりを学ぶことを目的に開催します。

研修プログラム

時　間	研修科目	講義形式	講師	研修内容
14:00～15:30 （90 分）	身体的拘束等の適正化と高齢者虐待防止	講義・演習	元北海道医療大学大学院　看護福祉学研究科） 非常勤講師 石川秀也先生	高齢者虐待防止法・身体拘束廃止の基本的理解を深めるとともに、施設内での虐待や不適切なケアを防止するために必要な取り組みについて学び、また身体拘束廃止に向けた実践的スキルの習得を図ります。
15:40～16:40 (60 分)	不適切なケアに関する事例検討会	講義・演習	大原・財田の杜 吉田施設長	介護施設における高齢者虐待は、利用者様の尊厳を脅かす大変大きな問題です。虐待を防止するためには発生した事案だけに対処するだけではなく、虐待が表面化する以前にあったはずの「不適切なケア」に早い段階で気づくことが大切になります。そこで今回は、委員会・各事業所から上げた不適切なケアの事例や改善策について検討をします。また、石川先生より不適切なケアの観点から、高齢者虐待を防ぐために重要なポイント等についても解説していただきます。

研修の様子

各入居系事業所より９名が参加され、元北海道医療大学大学院看護福祉学研究科非常勤講師の石川秀也先生より専門職として適切な高齢者虐待防止･身体拘束廃止についての知識を深めると共に虐待や身体拘束に繋がる心理面について理解を深めていた。また不適切なケアに関する事例検討会では各事業所での不適切なケアに関する取組みについて情報共有を図り、石川先生より助言をいただき、今後の施設の取り組みに活かしていくことを確認した。